

# くるはら

2009(平成21)年1月30日

第 44 号

発行 来原地区コミュニティ  
づくり連絡協議会

編集 広 報 部



多くの来場者で賑わいました

たかみや湯の森

## 「10周年記念」 祝賀会



祝いの紅白もちが  
振舞われた



熟演で盛り上げていただいた  
原田神楽団



来原老人クラブ有志作の門松

# 新しい年を迎えて

来原コ連協会長 平野 弘則

来原地域の皆様、明けましておめでとうござい  
ます。

お元気で新しい年を迎  
えられたこと心よりお喜  
び申し上げます。

又、来原コ連協永遠の  
活動テーマ、住んでみた  
い、住んで良かった来原  
の郷への取り組み、呼  
びかけに参加、ご協力の  
いただき深く感謝いたしま  
す。

さて昨年は地球温暖化  
が進んだ影響が異常気  
象、更に身近に感じたガ  
ソリンの高騰と景気後  
退、輸入食糧に起因した  
食の安全安心の問題、そ  
して今も後を断たない悪  
質詐欺、悪徳商法の横行  
と私たちの毎日の生活に  
激震が走った平成二十年  
でしたが、今年も平穩  
で、この自然豊かな地域  
環境のなかで人のつなが

り、絆を大切にし、お互  
いが温もりのある、より  
前向きな生活が出来るこ  
とを念じます。

昨年の後半から目に見  
えて日本経済は金融市場  
の悪化から大変厳しい状  
況に陥っています。その  
中で今、私たちが住む  
農村に求められている食  
料自給率五十%にむけた  
施策を基本とした食の安  
全安心は農村には無限の  
資源がありますし、この  
資源を地域全体で共有し  
地域の特色を引き出す活  
動が地域活性化につなが  
る一策と思います。

更に国が進めている農  
村への継続施策として、  
条件不利地域を支援する  
中山間地域等直接支払交  
付金等を活用して、元氣  
な子どもから、知恵袋の  
高齢者にわたる多くの  
人々の力を結集して、心

のふれあう、誰もが心を  
開き話し合い安心して住  
めるまち、住んでよかつ  
た地域づくりのため皆  
んなで汗を流すことも大切  
と思います。

又、地域の皆さんの声  
に起因し地域の財産とし  
て発足し、来原コ連協も  
運営協会の一員として頑  
張っている、たかみや湯  
の森も十周年を迎えまし  
た。

これからもこれまで地  
域で培って来た多くの事  
柄を大切にしながら活動  
の原点に返り、お互いに  
多くの地域の人々と出会  
い、接し、声をかけ合い  
豊かな人間性を創造しな  
がら、住んでみたい、住  
んでよかつた来原の郷を  
を合い言葉に頑張りま  
しょう。

今年も来原コ連協に対  
し積極的に参加、協力、  
そして提案とご指導をお  
願ひし、新年のご挨拶と  
いたします。

# 年頭のごあいさつ

安芸高田市市議會議員 塚本 近

来原地域の皆様、新年  
明けましておめでとうご  
ざいます。

皆様には、お健やかで  
希望に満ちた初春を迎え  
られましたことを、心か  
らお喜び申し上げます。

また、安芸高田市議會  
に対し、深いご理解と絶  
大なるご協力を賜り厚く  
お礼を申し上げます。

さて、私事昨年度市  
の選挙において、再度市  
議會に送っていただきま  
した。その上、議員各位  
のご支援によりまして副  
議長の要職に就任させて  
いただき、たいへん名譽  
なことと同時に、責任の  
重大さを痛感しております。

今日、日本経済は世界  
的な金融危機と株価下落  
のあおりで、深刻な打撃  
を受け、本市においても  
地方分権が進むなか、自

己決定・自己責任による  
自治体運営が求められ、  
議會の真価が問われる時  
代となつてまいりまし  
た。

今後とも、皆様からの  
幅広いご理解とご協力を  
お願い申し上げますとと  
もに、本年が皆様にとり  
まして、幸せで実り多く  
飛躍の年となりますよう  
心からお祈りし、新年の  
ご挨拶いたします。



# 夢ある農林商工業

安芸高田市市議会議員 秋田 雅朝

皆様、新年おめでとう  
ございます。

お健やかに初春を迎え  
られましたことを、心よ  
りお喜び申し上げます。

昨年は、皆様方のご支  
援を賜り、市議会へ送り  
出していただき、ありが  
とうございました。改選  
後の議会構成において、  
産業建設常任委員長の職  
を賜り、委員会が所管し  
ている、農林畜産・商工  
業について、本市の財源  
確保の要であることを認  
識し、農業施策・道路整  
備・商工業の繁栄等、市  
民生活の安定、地域経済  
の発展に向け、執行部と  
充分な議論を行い、市民  
皆様の負託に応えられる  
よう鋭意努力する決意を  
新たにしているところで  
ございます。

さて、世界的な不況の  
嵐の中で新しい年を迎  
え、米国発の経済危機の  
大波が足元に押し寄せて  
きました。

本市でも年末の中国新  
聞に記載されたように  
「求人倍率大幅減」であ  
り、市は「緊急経済・生  
活支援対策本部」を設置  
し、相談窓口を設け施策  
説明会を一月に開く予定  
としています。国の景気  
対策は喫緊の課題であ  
り、早急な雇用対策が必  
要と考えます。

農業では、原油高、生  
産資材・畜産飼料の高騰  
など例年にも増して「農  
業苦難の年」でした。生  
産資材としての堆肥購入  
助成事業、ブランド米戦  
略展開事業などを本年度  
も継続し、更なる農業振

興施策の充実を図り、農  
家所得向上対策の展開が  
必要と考えます。

「百年に一度の経済危  
機であるが、農業にとつ  
ては百年に一度の見せ  
場」という声を耳にしま  
す。食料自給率向上、食  
の安心・安全で農業に対  
する関心が高まり、雇用  
情勢の悪化の中で、「農  
業を雇用対策にすれば」  
という考え方です。

私も同感です。本市も  
財源確保対策に、人口  
増・経済活性化・定住・  
雇用対策を掲げています  
が、農業を活用すること

で対応可能と判断できる  
からです。農業が「緑の  
雇用」となることで、ピ  
ンチからチャンスに変わ  
り、本市の農林商工業に  
夢が持てるようになるこ  
とを望みます。

更に「人が笑顔で生き  
生きと暮らせる活力ある  
まちづくり」につながる  
よう、皆様のご意見を賜  
り、皆様と共に「住み良  
い地域づくり」に努力し  
て参ります。

最後になりましたが、  
皆様方のご健勝、ご多幸  
を祈念いたします。

## 明日にむかって

### モーと前進!

安芸高田市市議会議員 山根 温子

新年あけましておめで  
とうございます。

寒いながらも、雪景色  
のお正月を迎え、四季  
折々の自然の美しさに触

地域に暮らす私たち一人  
ひとりの課題だと考えま  
す。

さて、昨年は、二度の  
選挙において負託をいた  
だき、市政に皆さまの声  
を、生活の中からの声を  
届けるよう活動してまい  
りました。

子育て支援、男女共同  
参画推進、そして薬剤負  
担軽減についてなど一般  
質問してまいりました。

皆さまの声をこういつ  
た形で届けること、とし  
て市の厳しい財政状況の  
中で、これからの安芸高  
田市の方向性についても  
チェックしていけるよう  
しっかりと実力をつけて  
まいります。

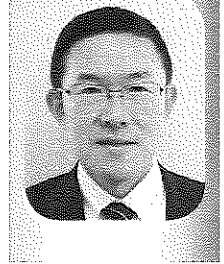
新たな議会構成におい  
て、総務企画常任委員会  
および議会広報特別委員  
会に所属することとなり  
ました。

明日に向かってモーと  
前進してまいりますので、  
今後とも宜しくお願  
いいたします。

# 新年明けまして

## おめでとーうございます

安芸高田市立来原小学校校長 平 畝 力



新しい年が明けました。おめでとーうございます。

本年が皆様にとつて、良い年でありますように願っております。

今年のお正月も、「福寿会」の皆様立派な門松を作ってくださいました。本当にありがとうございます。

今年も、たとえ歩みは遅くとも着実に前進したいと思えます。

来原小学校の二期期の目標の一つとして、「元気いっぱい」をあげました。大きな声で挨拶をす

る子、覇気をもって授業に参加する子は増えましたが、全体的に見るとまだまだ元気のない子もいます。今年も引き続き、「元気な来原っ子」に育てたいと思えますので、地域の皆様のご協力よろしくお願いたします。

さて、三学期の始業式には、子どもたちに「台上 一分鐘 台下十年功」という話をしました。

台は舞台、鐘は中国古来の楽器、功は努力の意味です。

「一流の俳優が舞台で一分間演じることができるようになるには、十年間基礎からたゆまず練習するしかない。何事も続けることが大切で、イチロー選手や松井選手も毎日基本的な練習を続けている」ということです。

子どもたちも、この一年しっかり努力を積み重ね、自信をもってできる

モノを身に付けてほしいと思えます。

### 来原の誇り 児玉希望画伯

来原の誇りと言えば、やはり「児玉希望先生」。

私が来原小学校に来て、このことに一番感激しました。児玉希望先生の母校の校長になれるなんて……と夢のようでした。しかし、本校児童に希望先生のことを聞きましても、あまりよく知りません。

「これでは、いけない！私は何としてでも、来原小の偉大な先輩「児玉希望先生」の事を教えよう、一緒に学ぼうと誓いました。

そして、あらゆる場で、子どもたちに「希望先生」のことを話すとともに、色々と取り組んでいきました。その一つとして、県教

育委員会の美術鑑賞教室に申し込み、希望先生の作品鑑賞会が実現しました。当日は、祖父母参観と併せて行い、祖父母の皆様も熱心に鑑賞されました。

また、六年生の元村君はこのときの「ひざかり」という作品に感動し、模写をするとともに絵の分析を行い、そのことを小中意見発表会で発表しました。

六年生の取り組みとして、全員が模写をし、掛け軸を作成しました。この掛け軸も皆さんにどこかで披露したいと思っています。

また、「キング」という雑誌に載っている「画壇の麒麟児 児玉希望」という読み物を元に、劇化をし、地域公開で発表をしました。

このような一連の取り組みで、子どもたちも希望先生のことを知り、誇りに思い、自分たちも努力をしようと思っております。

「希望先生資料室」も作りましたので、ぜひ観に来てください。

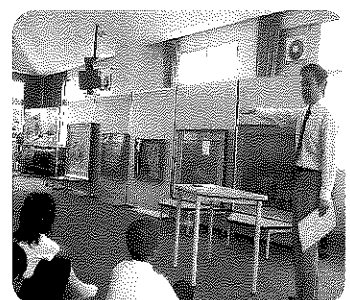


希望先生資料室



小中意見発表会

### 2学期の行事紹介



美術作品鑑賞教室



秋も深まり、なかよし会のおじいちゃん、おばあちゃんたちと、春に植えたサツマイモの収穫をしました。  
長い茎に立派な葉っぱを子どもたちとおじい

**なかよし会 (秋冬編)**



ちゃんたちとで引つ張って取り除き、いざおいも掘り。

大・小さまざまなサツマイモが顔を出し、子どもたちは大歓声。早速、甘くなるようにと並べて干しました。

サツマイモの茎は皮をおばあちゃんたちと一緒にむいて、炒めてもらって給食で食べました。おいしかったようでお代わりもいっぱいしました。

食べるのが当たり前だった昔にくらべ、今は意識して食べる機会を作らないと口に入らない食べ物だけに良い体験ができました。

数日後、散歩に出かけて拾ってきた葉っぱや近所で頂いたまきで、おじいちゃん、おばあちゃんにお世話していただきながら焼き芋会をしました。おいしくてみんな至福の笑顔でした。

**門松作りと**

**どんど**

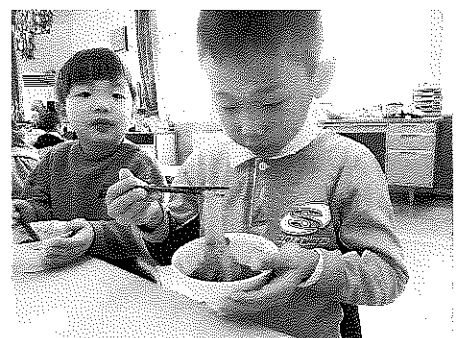
竹、松、南天、葉牡丹などを運び込んで、手作



り門松を作っていたきました。すごく立派でびっくりしました。  
年明けには、その門松を崩してとんどをしました。雪が降る中の作業だったので風邪を引かれては大変と心



配しましたが、おじいちゃんたちはとてもお元気で、アイデアいっぱいやり方ととんどをして見せてくださいました。  
もちつき会ですいたお餅を竹につけてもらい、竹が燃えた後のおきで焼いたお餅はとてもおいしくて、また、やわらかくてすごく伸びました。  
お鍋いっぱいにあっただんざいは、あつという間に底が見え出し完食でした。  
「あゝおいしかった」と、口々に言う子どもたち。とても満足そうでした。



食べることは、生涯の健康と基礎となる体づくりに重要であると同時に、生きる力(自己管理能力)と豊かな人間性をはぐくむこと。

おじいちゃん、おばあちゃんとコミュニケーションをとりながら、色々としてくださることを見て学ぶことができた子どもたちは、自然と力になっていくと思えます。

なかよし会は2月に一緒に遊んでいたく予定があります。それで今年度は終了です。  
1年間本当にありがとうございました。

(くるはら保育園)



# 世界人権宣言60周年記念大会

～第20回たかみや人権文芸賞表彰式～

第20回たかみや人権文芸賞入賞作品



たかみや人権文芸賞  
 入選作品より  
 紹介します

第二十回「たかみや人権文芸賞」の発表と表彰が、昨年の十二月五日に行われました。来原からは、次の七人の作品が表彰を受けられました。

## 詩の部

### 特選

☆世界人権宣言高宮実行委員会委員長賞

「うちのかぞくはせかい」

来原小学校一年生 くらだ かな

わたしのおかあさんは、  
 ねぎをむくのが すごい。  
 わたしのおばあちゃんは、  
 はなや やさいを うえてそだてるのと  
 つけものが すごい。

わたしのおとうさんは、  
 やまで まつたけや みみたけや  
 あかきのが すごい。

わたしのおじいちゃんは、  
 くるまのあんぜんうんでんが すごい。

## 標語の部

### 入選

やさしさは 心がやすらぐ 宝物  
 来原小学校六年生 元村 一真

私たちの 未来をひらく その笑顔  
 高宮中学校三年生 元村 彩

## 詩の部

### 入選

「牛ってかわいいんだ」

来原小学校二年生 吉川 まあや

牛って こわかった  
 だって すごく 大きいもん  
 目だって 大きいもん  
 さわるうと すると  
 頭を ふりまわすもん  
 でも こゆきは おとなしい  
 ゆう気を出して さわってみた  
 あったかい あったかい  
 目だって かわいい かわいい  
 わたし 牛が すきになったよ



## 感想文の部

## 入選

## 「ちいちゃんへ」

来原小学校三年生

中崎 りな

ちいちゃんがお父さんとはなれるとき、さみしいと思つたよ。でも、出せりする前の日

「かげおくり」

という遊びを教えてください、毎日毎日かげおくりをして楽しそうだったよ。でも、だんだん空がくらくらなってきた、ぼくだんをつんだひこうきがとんでくるようになって、とってもこわいと思つたよ。あい図のサイレンでちいちゃんたちは目がさめて、お母さんとお兄ちゃんとちいちゃん、ひっしでにげててすごいなと思つたよ。そしたらお兄ちゃんがころんでだいじょうぶかなと思つたよ。そしたらちいちゃんとお母さんがはなれて、かわいそうだったよ。でもその時知らないおじさんが助けてくれてよかつたね。でも、ちいちゃんは一人ぼっちでさみし

かつたと思うよ。そしたら、はす向かいのおばさんが来て、いっしょにちいちゃんの家までつれて行つてくれてたね。でも、家はやけおちてなくなっていたからかわいそうだったよ。そして、かわれかわれた小さなぼうくうごうの中で、ぎつの中にあるほしほしを少しつかじると、ねて次の日もぎつの中にあるほしほしを少しつかじって、食べ物が少ないからかわいそうだったよ。そして次の日、ちいちゃんはあつたようなさむいような気持ちで外に出るとお父さんが、

「かげおくりのよくできそうな空だな。」

と青い空からふってきた、みんなでいっしょに数を数えて白いかげぼうしといっしょにちいちゃんは、空にすいこまれていくのがわかつて空を見ると、一面の青空で、ずっとずっと見回しても花畑だったからすごいと思つたよ。そしたら、むこうから、お父さんとお母さんとお兄ちゃんがわらいながら歩いてくるのが見えてきて、ちいちゃんもお父さんお母さんお兄ちゃんの方へ走って行つたね。この

「ちいちゃんのかげおくり」

というお話しは、お母さんとはな

れたりするお話しで、とってもさみしいお話しだと思つたよ。お父さんとお母さんとお兄ちゃんに会えたからよかつたね。

本当は、ちいちゃんも戦争がない楽しい毎日がよかつたんだよね。そしたら、毎日毎日ちいちゃんの大好きなかげおくりができたのね。わたしも、天気がいい時よくかげおくりをするんだよ。ちいちゃんも天国でかげおくりをしているのかな。

## 入選

「お母さんへの手紙」  
を読んで

来原小学校六年生

加藤 一步

ぼくがこの物語を読んで思ったことは、佐江子さんは勇気があると思ひました。

これは、重い心臓病で亡くなった佐江子さんがお母さんに書き残した手紙です。そしてこれは佐江子さんが手術の前にお母さんにあ

てて書いた最後の手紙です。

心臓病をもって生まれた佐江子さんは十四才の若さでこの世を去ってしまいました。

この手紙の中にはいくつものありがとうがありました。佐江子さんは

「手術ががんばってくるからね。」ではなく

「手術ががんばろうね。」

と言いました。これは、自分は一  
人じゃない、力を合わせてのりき  
ろう、ということだと分かりまし  
た。佐江子さんはお母さんのつら  
い気持ちを考えられるんだと思  
いました。

「十四年間私を育ててくれてあり  
がとう。」

必死で佐江子さんを育てたお母  
さん。

お母さんは佐江子さんがねると  
き

「おやすみ。」

と、ふとんにはいるとき、

「いい夢みなさい。」

といつも言いました。ねるときも  
悪いことではなく、希望を持つ考  
えを持ってもらいたいと思ひまし  
た。

「ぼくは今を一生懸命生きたいと  
思ひました。」

作文の部

入選

「小鳥の命」

来原小学校 四年生

己岡 拓海

ぼくは夕方車庫で血まみれの鳥を見つけてきました。毛の間から、血が出ていて、ぼくの家のおねにおそわれたのかなとびっくりしました。初めて血まみれの小鳥を見たのでしんでいるのかなあと思いました。ぼくはなみだをこらえて手を合わせていたらちよつと動きましました。小鳥はぶるぶるふるえていました。家にはねこがいるので、つれて帰るのも無理だと思い、入れものに土を入れたり、家の木の葉をのせたりしました。

家に帰って、みんなに小鳥のことを教えてあげました。すると、おばあちゃんは、「いいことをしたねえ。その小鳥は生きてほしいねえ。」と言いました。ぼくもそう思いました。

次の日の朝、急いで車庫に行ってみると、小鳥は死んでいました。ぼくは、助けられなかったので、

くやしくなりました。

鳥の近くには虫がいつばいいました。ぼくはスコップを持ってきて、車庫の近くの畑に、どんどんななをほり続けました。少し大きめのあなになつたら小鳥をあなの中に入れて土をかぶせました。近くに落ちていた小枝をあなの近くにさしました。そして手を合わせ、なみだをこらえてぼくは家にかえりました。そしてみんなにこのことを言うと、おばあちゃんが「それはつらいねえ。毎日毎日手を合わせるんだよ。」と言いました。

次の日も見に行き、花をそなえました。それから、また、小学校の体育倉庫の前に小鳥が死んでいました。その時、家で小鳥が死んだことを思い出しました。その体育倉庫の前に死んでいた小鳥はちよつとぼくの家で死んでいた小鳥と一緒しょうらいの大きさでした。ぼくは小鳥がかわいそうになりました。みんなはこの小鳥はごみのようにみえるかもしれないけれどぼくは、小鳥がいたらえさをあげたり、小鳥の鳴き声を聞いたりたいです。

どんな小さな命でも、大切な命だからみんな虫でも、鳥でも、動物も大切にしなければいけないと思います。

平成20年度 安芸高田市青少年ニュージーランド派遣事業 参加報告

私のニュージーランド生活

高宮中学校2年 猪掛 詩絵



私達は12日間のニュージーランド派遣事業に参加しました。初日は、朝9時に高宮を出発しました。そして、ニュージーランドに行くまでに2機、ニュージーランドから1機、合計3機の飛行機に乗りました。時間にしてとても長旅でした。

初めてのニュージーランド、そして、初めての海外旅行、私はドキドキ感が止まりませんでした。日本を出た次の日にニュージーランドに足を踏み入れました。ニュージー

ランド生活の始まりです。空港を出ると、コリンさん、早川先生が私達を迎えてくださいました。そして、みんなバスに乗り、移動をしました。

街から少し離れ、周りは牧場と道だけの所に来ました。コリンさんの説明で目の前の山を見ると、女の人が寝ているような形をしていました。本当にびっくりした人の形をしていて、びっくりしました。

ずっと道を行くと、少し街並が見えて来ました。そして、大きく、きれいな学校に着きました。その前にはたくさん家族！私達がお世話になるホームステイの家族です。家に着くと、周りは山で囲まれた所に、羊、猫がいました。とても大きな家でした。

2日目からはダーフィールドハイスクールに通いました。生徒数約500人という大きな学校でした。この日から、学校に集合した後、スケジュールにそって行動しま





高宮中学校2年生 川上 美風

### ニュージージーランド派遣事業で学んだこと

した。私達は日本語のクラス、理科のクラス、地理の授業などを一緒に受けました。驚いたのは、みんな日本語が上手だったことです。

クライストチャーチ大聖堂など、大都会の数々の観光地を目の前にして私は凍りづけになりました。現地のショッピングモールや観光所、学校ではみんなが話しかけてくれて親切にしてくれて、ニュージージーランドにいることに違和感は一つもありませんでした。

8月9日から18日まで、私は安芸高田市青少年ニュージージーランド派遣団員として団長の佐々木校長先生、副団長の小笠原先生と7名の生徒とニュージージーランドに行きました。これまでに行ったことのある人の感想を聞いたたり、親や友達の薦めがあつて参加しようと思いましたが、事前学習会をしている時、ニュージージーランドに行くのが待ち遠しかったです。

た。帰る頃には誰もが、「帰りたいくない。」と思っていたと思います。

ニュージージーランドにいた10日間私にとって一生忘れることのできないかけがえのない思い出となりました。行く前の不安は喜びと感動に変わり、また、是非、外国に行きたいと思いました。

この派遣事業に協力してくださった方々に感謝します。本当にありがとうございました。

私はニュージージーランドに行き、人のあたたかさを学びました。相手に伝えたいという気持ちで伝えることを知り、伝えることの喜びを感じ、将来につなげていきたいと思いました。

この他にもニュージージーランドに行きいろいろなことを学びました。中でも異文化についてです。ニュージージーランドと日本では生活スタイルも違

かし、いざ行くと、ほとんど英語を話せない私はホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれませんでした。でも、ホストファミリーのみなさんは、そんな私にとても優しくしてくれました。買い物に連れて行ってくれたり、ゴンドラに乗せてくれたり、よく「家に電話をしますか。」と聞いてくださいました。

ホストファミリーだけでなく、ダーフィールドハイスクールの人もとてもよくしてくれました。一緒に授業をしている時など、私に一生懸命伝えようとしている気持ちがすごく伝わってきて、とてもうれしかったです。

### 信じてるから

高宮中学校2年 小早川 由

ます。例えば、ニュージージーランドでは室内でもくつで過ごします。日本ではそれは失礼なことですが、ニュージージーランドでは当たり前なことなのです。このようにニュージージーランドと日本では「あたり前」に思っていることが違うのです。私はそれがとてもおもしろいと興味を持ちました。

私は初めてニュージージーランドに行きました。そして、たくさんの体験をしました。そのうちのすべてが初めてやることで、本当にいい思い出になりました。人生ではなかなか学べないこともたくさんありました。

人は、必ず1度は人と関係ができるものです。その関係の中で信じているという事です。ニュージージーランドは初めて行ったので、何も知りません。誰かを信じているという教えてもらわなければなりません。それが命に関わることな

ニュージージーランド派遣事業に参加して感謝の気持ちでいっぱいになりました。この事業への参加を薦めてくださった人、ホストファミリー、ダーフィールドハイスクールのみなさん、他にもたくさんの方々のおかげでたくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

私は、ニュージージーランドに行く時から運転手さんをはじめ、ニュージージーランドに着いてからも、スキーや乗馬、ジェットボードなど初めてやる体験を教えていただいた人を信じてきました。すべてが初めてなので、そう簡単ではありませんでしたが、体験を教えていただいた人のおかげで、すべての体験がうまくでき、とても楽しかったです。

体験の中には、すごく危ないなあと思う物もありましたが、教えていただいた人のこ



とを思い出し、はしゃぎながらも楽しくいい体験をさせていただきました。

このように、誰かを信じて体験したので少しでも何かをしたら危ない体験でもとても楽しい思い出になりました。楽しい思い出はずっと覚えて、いつまでもいい笑顔を忘れないようにしたいなあと思いました。

信じた人には本当に感謝しています。この思い出をつくれたのは、すべてその人たちのおかげです。人生で大切な事を学びました。

## 駐在所からのお知らせ

地域のみなさま、あけましておめでとうございます。本年も昨年同様よろしくお願ひします。

平成二十一年になり、経済成長をしてきた日本にも不景気の波が打ちよせてきています。

そこで、昨年からも問題になっております、悪質詐欺や悪徳商法が未だに横行しており、本年もすでに被害にかかった方がおられます。被害の対象者は、特に六〇歳以上の高齢の方が多いようです。

昨年県内で詐欺被害の認知件数は、四三三件で被害額は約五億二千万円と十九年度からすれば減少しておりますが、まだまだ高齢者を対象にする詐欺事件は無くなりません。それでは、このような被害にあわないためには、

### 悪質詐欺にあつては

- お金は、直ぐには振り込まない。
- 一人で悩まない。不審・不安に思ったら、家族や警察、金融機関、消費生活センターなどに相談する。
- なりすまし詐欺
- 肉親や家族、会社など、個人情報を聞かれても教えない。
- いったん電話を切り、家族や会社等に電話連絡し事実を確認する。

「ママを悩ませないぞ!」「振り込め詐欺」にご用心!

オレオレ詐欺    架空請求詐欺    融資保証金詐欺

**「たしかめる ゆとりが振り込め 封じ込む」**

98万

お振り込み 78万

**すぐに振り込まない。**

**一人で振り込まない。**

取り消し

全国防犯協会連合会    社会安全研究財団    警察庁    郵通防犯部

### 架空請求詐欺・その他の場合

- 身に覚えのない請求書・通知書が届いても、無視する。
- 電話連絡するように書いてあっても絶対に電話しない。
- 初めての相手や不審な相手には、メールでの返事はしない。
- 書面には、必ず〇〇税務署などと正しい名称・所在地・連絡先等が書いてあるか確認する。
- 悪徳商法を防止するには
- 落ち着いてよく考え、決して一人で決めない。
- すぐに買わず、知人や家族などに相談する。「脅されたり、しつこい場合は、一一〇番を。」
- いらなければ買わないことです。

以上のことを日ごろから頭にいれて、いつ来ても対処できるように参考にしてください。

安芸高田警察署

原田駐在所 黒澤 茂

# 女性部 研修旅行

女性部の役員を二年間させて頂き、たくさんの人達と知り合いになったこと、大変喜んでおります。

十二月八日に「研修旅行」として宝塚大劇場、神戸ルミナリエ（阪神大震災の犠牲者への鎮魂と追悼・街の復興を願って始まった、幻想的なイルミネーション）へ三十三名の役員さん達と行ってまいりました。宝塚では、月組の源氏物語、古典絵巻の世界を堪能。大きな会場が超満員、華やかな舞台に圧倒されっぱなし。一瞬夢の世界へ入り込み、会場を後にしても余韻が残った。



南京町での夕食、そしてルミナリエと、ここもたくさんの人々で長い行列。今年から一人百円の募金協力。次回へも立派なルミナリエが開催される様にと募金箱にはたくさんの人達の善意が入っていた様です。帰りのバスの中でも盛り上がり、帰りは夜中になりましたが、皆さん無事に家路に着かれたようです。有意義な一日を過ごさせて頂きました。

(K・F)

## 青色防犯パトロール

平素は「青色防犯パトロール」にご支援、ご協力頂き有難うございます。私たちは広島県警察本部より証明された者として日頃のパトロールを実施しております。

素人がパトロールをして実際効果があるのだろうか、という意見もあるかと思いますが、何もないのが効果だと思つて走っています。また子供たちとすれ違つて手を振つてくれますし、お年寄りの方は頭を下げてくださいます。そんなことを励みにパトロールを行っています。隣接する地域においては、青色防犯パトロールを始めてからはその地域に入る訪問販売業者がいなくなったという事例もあります。

私たちの役割というのは「住民が防犯意識を持つ地域であることをアピールすること」手を振つたり頭を下げたりすることによって「地域の人々が繋がっていることをアピールすること」だと思っています。

私たちは警察官ではありませんので、不審者を取り締まるとか、容疑者をつまえるということは考えておりません。少しでも地域の安全・安心に役立てばという思いで、決して

無理をしないように心がけてパトロールをしています。

しかし実際に安全・安心の中で生活するためには、やはり地域住民一人ひとりが防犯の心がけを持つことだと思います。新聞やテレビで報道される事件が「他人事ではない」「自分たちの地域でも起こりうる」と意識することでしょう。また不審情報が発生した場合は、その内容と対処方法などが有線放送、印刷物等で提供される場合があります。不審情報がパソコンや携帯電話に自動配信されるシステムも利用されると思います。

今後も地域の安全・安心のためパトロール活動の充実に努めてまいりたいと思います。「青色防犯パトロール」に対して引き続き地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。(加藤義範)



# 敬老会を 終えて



十月十九日(日)、今年度の「来原地区敬老会」が、来原小学校体育館で行われました。秋の刈り入れが一段落する十月にこの「敬老会」を実施するようになって、今年で三年目を迎えました。

今年度の来原地区敬老対象となる方は、男性百二十二名、女性百九十名、地区別では、来女木百二十六名、原田百八十六名です。最高齢者は、県下で三番目という原田の岩木ヲチズさん百十歳を始め、百歳以上が三人、九十歳以上も三十一人おられます。ほとんどの方がお元気で穏やかな日々を過ごしていらっしやいます。

当日は天候もまずまずで、百十名以上の参加者があり、あちらこちらで懐かしい顔を見つけては旧交を温められていました。

開会式では来原コ連協平野弘則会長挨拶の後、県議会議員児玉浩氏、市議会議員塚本近氏、秋田雅朝氏、山根温子氏の四人の方より

祝辞がありました。

続いて「なりすまし詐欺」の山口と被害防止のための安芸高田警察署の防犯教室があり、迫力のある見事な演技に大笑いしたり、詳しい説明にうなずいたりしながら身を乗り出して熱心に学習されていました。

昼食前に、お忙しい中駆けつけて来られた浜田市長が祝辞を述べられ、その後、敬老者を代表して、原田東老人クラブの久保田慧壮さんのご挨拶、今年度七十五歳になられた方々を代表して、猪掛信幸さんが乾杯の音頭をとられました。

「原田こども神楽同好会」の皆さんによる「八岐の大蛇」の熱演を楽しみながらの昼食会のあと、山手一心さんの飛び入りの歌謡曲も入り楽しいひと時でした。最後に原田、来女木両子ども会の代表者六人が、お祝いと感謝の言葉を朗読して閉会しました。

ご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

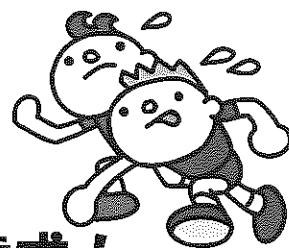
(N・K)



# 第39回 高宮駅伝開催される!



## 原田Aチーム 前人未到の3連覇達成!



高宮の地に本格的な冬の到来を告げる、恒例の第39回高宮駅伝競走大会が去る12月7日(日)総勢15チームが参加して開催されました。午前10時に川根をスタートし、ゴールの船木までの11区間(30.1km)でタスキが受け継がれました。

来原地域からは5チーム(原田 3チーム・来女木ひまわり会 2チーム)が出場し、日頃の練習の成果を十分に発揮した各チームの選手は、走ることへの楽しさとあわせて好成績をおさめました。また、中継所では地域役員の皆さんによる「湯茶の接待」が行われ、沿道での選手への声援とあわせ地域ぐるみの行事となりました。

チーム名	原田A	来女木ひまわりA	原田B	原田C	来女木ひまわりB
順位	第1位	第7位	第8位	第12位	第13位
区間					
1	遠野友裕希	伊藤 潤治	遠野 淳	遠野 弘典	丸山 真治
2	山縣 拓也	田中 弘輝	清水 大貴	巳岡 恭輔	児玉 晃
3	川本 勝	泉 龍生	猪掛 剛希	川森 千聖	田中 誠
4	高野 翼	上杉 周平	遠野 竜志	遠野 豪紀	小丸 大輔
5	藤光 有里	田中 美菜	岩崎 千穂	猪掛 公詩	上川 真司
6	末田 和也	高杉 里奈	高野 司	山田 圭亮	岡田 雅彦
7	猪掛 真詩	中村 勇司	山田 貴寛	吉川 真治	中村 克久
8	松浦 歩	新庄 勇二	山田 晋吾	竹内 豊	小笠原 誠
9	田辺 琢馬	秋国 満	猪掛 詩絵	松長 将弘	岩崎 猛
10	清水 成美	児玉 浩	中崎 翔子	上野 将	児玉 淑将
11	小早川 功	秋国 光宏	荒川 裕	遠野 史和	出張 一樹

### 区間賞・特別表彰の方は次のとおりです。

#### 一般の部

- 4区 原田C 遠野 豪紀
- 6区 来女木ひまわりB 岡田 雅彦
- 7区 来女木ひまわりB 中村 克久
- 8区 来女木ひまわりB 小笠原 誠
- 10区 原田A 清水 成美

#### 学生の部

- 1区 原田A 遠野 友裕希
- 2区 原田A 山縣 拓也
- 3区 原田A 川本 勝
- 6区 原田A 末田 和也
- 8区 原田A 松浦 歩

#### 特別表彰

- 15回出場  
小笠原 誠  
児玉 浩  
荒川 裕
- 3年連続優勝監督賞  
猪掛 生詩
- 20回監督賞  
秋国 満
- 3年連続優勝  
原田A

#### 女性の部

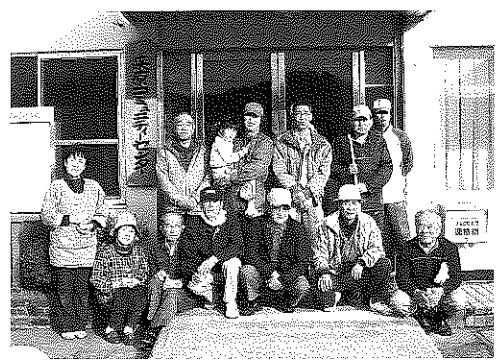
- 5区 原田A 藤光 有里 ※区間新

#### 40歳以上の部

- 6区 来女木ひまわりB 岡田 雅彦
- 7区 来女木ひまわりB 中村 克久
- 9区 来女木ひまわりA 秋国 満



# 2008 下半期 スナップ



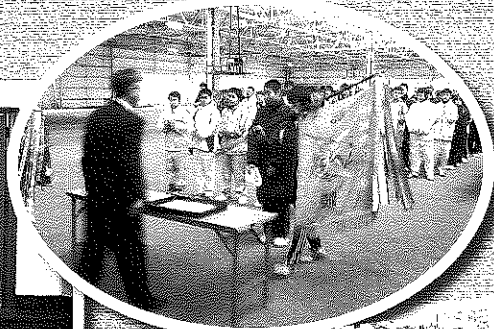
来原コミュニティーセンター年末大掃除



女性部研修旅行(神戸ルミナリエ)



高宮駅伝



▼ 広報「くるはら」第44号をお届けします。遅くなりましたがご愛読ください。

▼ 故郷出身の偉大な画家、児玉希望画伯の《波濤群鶴図》が8年ぶりに現在公開中です。緻密な写実描写と強烈な色彩が際立つ、30代の勢い盛んな時代の傑作です。

▼ 場所は奥田元宋・小由女美術館で4月7日まで公開中です。ぜひご鑑賞くださいませ。

▼ 編集にご協力を頂きました方、ありがとうございました。

▼ 「連協広報部」では、地域の皆さんからのご意見や身近な情報、記事、短歌、写真等の投稿をお待ちしています。

## 編集後記

- ☆「連協等行事予定」
- 2/15 第5回安芸高田市民フォーラム
- (市民文化センター)
- 3/10 高宮中卒業式
- 3/19 来原小卒業式
- 3/22 くるはらミニ駅伝競走大会(予定)
- 3/25 来原保育園卒園式
- 4/3 来原保育園入園式
- 4/6 来原小人学式
- 4/7 高宮中人学式